

《全国初、池田発の地域分権》

みんなで作る将来(夢)のまちづくりのイメージとしてのタイトルは

「地域の人々が共生し、みんなで作る
安心・安全・きれいなまち 石橋南」

平成25年度予算事業提案事業が決まる。

この事業書は、昨年10月末に池田市総合政策部地域分権課に提出。その事業書を検証、精査され市議会(3月27日)で審議され決議される。提案事業として18事業で予算額8,686千円、事業提案限度額10,486千円、次年度繰越金額1,800千円となる。

事業書のうち2事業が精査の結果取り下げ事業となる。(今後は、速やかな事業の進捗情報、予算と実行金額、文書化等、十二分な事前ヒヤリングの実施、体制の転換等を行政機関に望むとともに相互の連携を強化する。)

公衆トイレ事業

「クルルいしばし」は大阪大学の学生達による空き店舗を活用した、商店街活性化事業(補助金)を展開するための拠点として活用されている場所である。公衆用トイレの設置は、学生達の活発な活動を損なう恐れがあると同時に公衆トイレとしての活用にも制限が懸念されるため再検討とされたものです。

池田案内看板設置事業

当看板は、池田市と隣接市の境界を示すために、一定の基準の範囲で設置されているものであり、提案の「市の玄関口にふさわしいデザインの看板」とは、設置の目的が異なることからこの度の提案からは取り下げて、デザインやサイズ等を決めた上で再検討いただくこととなったものです。

防犯カメラの画像開示

防犯カメラ設置は、11校区に先駆けて地域犯罪の抑止と、こども、地域住民の安心安全の確保をはかるために設置する。(平成20年度提案事業で池田市内ナンバー1)現状全国的に防犯カメラがテレビや報道関係等で周知の通りであります。

わたくしたちのまちにも、またまた、池田警察署から防犯カメラの開示依頼があり、池田市・石橋南地域コミュニティ推進協議会(防犯カメラ管理委員会)双方が立会いのもとに厳密に画像提示の事業活動に努めた。



神田石橋線にグリーンベルト歩行帯が完成
(岸上モータープール前)